

産総研で 中性子解析施設見学会と講演会

2019.11.8

産総研が保有する新小型中性子解析装置を中心として「中性子を用いた分析技術と構造材料解析等への応用」のテーマのもと、講演会兼施設見学会が11月8日(金)13時から(国研)産業技術総合研究所にて開催されました。

この催しは、産総研計量標準総合センターが主宰する量子ビーム計測クラブと本協議会が共催したもので、約40名の関係者(含事務局)が集い、盛会となりました。

講演会はつくば中央第2事業所会議室にて実施され、開催挨拶の後5名の研究者から、中性子開発の世界動向から説き起こし、今回見学対象となる中性子解析装置の開発経過や既に確認されている現況紹介がありました。



この中で、J-PARC、理研、北大の類似システムについては、相互補完と役割分担で開発を推進していること、開発に伴い新たなニーズを見出すと共に、新たな開発テーマの抽出等、意欲的なコメントが紹介されました。

講演会の後、2班に分かれて研究者同行案内のあと、隣接建屋の中性子解析装置を見学しました。電子加速器は約20mと比較的コンパクトなサイズでしたが、特に自動車材料の軽量化開発を通して、省エネ社会の実現を目指したいと、熱い抱負が語られました。既に中性子解析装置周辺の制御装置なども装備され、中央で集中監視できるシステムも構築され、その一部のデモンストレーションも見ることができました。2019年度内にファースト中性子ビームが得られる見込みであること、調整は着実に推進されていることなど、その運用開始に大きな期待を抱かせる見学会となりました。見学された企業関係者等からの利用が待たれます。



JRR-4・J-PARC で見学会開催

2019.12.3

原子力施設廃止措置に关心のある県内企業を対象とした(国研)原子力研究開発機構(JAEA)・原子力科学研究所(原科研)4号炉(JRR-4)と、同機構のご好意により併せて大強度陽子加速器施設(J-PARC)の見学会が、いばらき成長産業振興協議会と本協議会共催で開催されました。

見学会は、12月3日(火)13時30分から開始され、いばらき量子ビーム研究センター(IQBRC)に参集した参加者14名(含事務局)は、隣接の同機構／产学連携サテライトに移動し、開会挨拶の後、「原子力科学研究所の概況」



と題した講演で、同所を取り巻く環境や廃炉に向かた動向の概況事前説明を受けました。



その後、2班に分かれ所内バスでJ-PARC及びJRR-4を見学しました。J-PARCでは、見学者用ハッチからビームライン(休止中)の巨大さ実感しました。更にニュートリ

ノ実験施設にも移動して、スーパーカミオカンデに向けたニュートリノ発射施設も見学し素粒子研究の一端に触ることができました。続く既に廃止措置が確定したJRR-4では、これまで担ってきた放射化分析、即発ガンマ線分析、BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)等に言及があり、同炉の果たした役割に思いを馳せました。特にこの見学では、廃止措置への関心が高く、2036年終了に向けた具体的な工程表が示され、既に第1段階の炉の機能停止措置完了と未使用燃料搬出の着手段階にあることの説明があり、手順を含めた実際が参加者の関心を集めました。



会員(法人)異動のお知らせ

(R1年12月1日現在／敬称略)

◆ 新規入会

(合計会員企業数：226社)

- ・株式会社 ヒューマンサポートテクノロジー

小野 浩二 (代表取締役)

〒319-1108 東海村村松北2-1-8 トーカイプラザD号

電話：090-6111-6992

***** J-PARC NEWS 発行 *****

J-PARC NEWS 第175号が発行されました。

<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>